

# 大学院の 無償化を目指して



日時 2019年12月4日(水)11:45～13:00

会場 第14会場  
(福岡国際会議場2階203)

●司会

木村 宏

(東京工業大学  
科学技術創成研究院)



●講演

安田 涼平

(マックスプランク・フロリダ研究所)  
「アメリカの研究室での  
大学院生の収支 — PIの立場から」



大学院の無償化が喫緊の課題であることは周知の通りです。2018年にキャリアパス委員会が行ったアンケートで「現在減少傾向にある博士課程進学率は、どうしたら増加すると思うか」を尋ねたところ、学生の皆さんからの回答で最も多かったのは「経済的サポートを充実させる(授業料も取らない)」でした。日本では今年2月に文部科学大臣より「高等教育・研究改革イニシアティブ～高等教育機関における教育・研究改革の一体的推進～」(梁山イニシアティブ)の発表がありました。大学院の無償化に関する内容も含まれており、今後の施策が注視されるところです。今回は海外の大学院事情に詳しく、ご自身も生命科学系研究者である安田先生を講師にお招きして、海外の状況などについても情報共有しながら、大学院無償化のあるべき姿について考えたいと思います。

※参加者の皆様にご自身のスマートフォン・タブレット端末等から専用サイトへアクセスしていただき、ご意見を会場のスクリーンにリアルタイム表示する「ケータイアライズシステム」を導入します。

※ランチョンセミナーの整理券配布については第42回年会ウェブサイトよりご確認ください。

●聴衆参加型ディスカッションwithキャリアパス委員



倉永 英里奈  
(東北大)



胡桃坂 仁志  
(委員長/東大)



高藤 典子  
(がん研)



林 克彦  
(九大)



山本 卓  
(広島大)